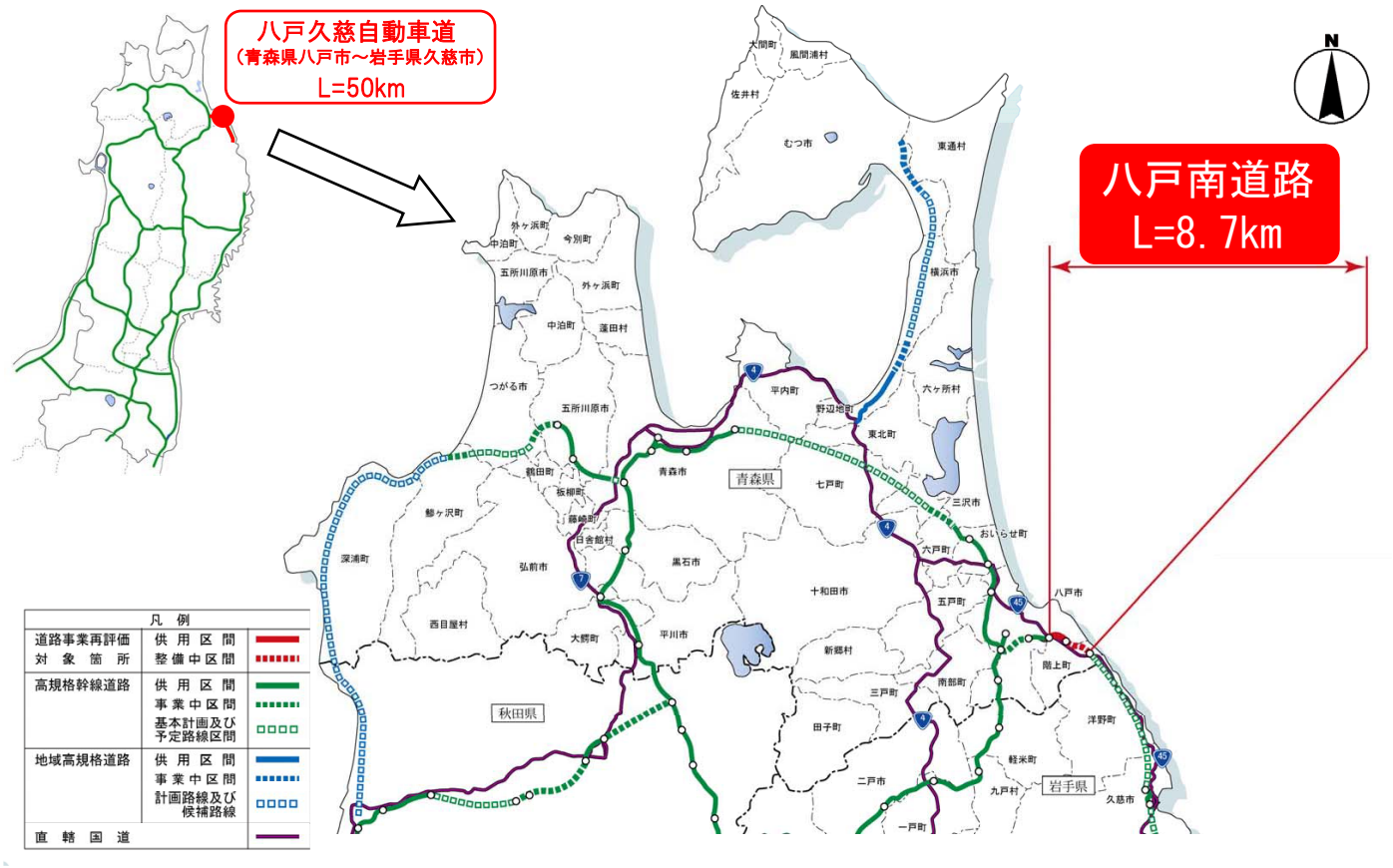
一般国道４５号　八戸南道路（はちのへみなみ）



事　業　実　施　状　況



一般国道４５号　八戸南道路（はちのへみなみ）

【評価要件：事業採択後10年経過】

〇事業の目的

・八戸市～久慈市間の交流・連携の促進

・三次救急医療施設へのアクセス向上

・物流効率化による地域の産業の活性化

・沿線住民の生活利便の向上　など

〇延　　長　：　L＝8．7km

〇事　業　費　：(完成)306億円　(暫定)235億円

〇事　業　化　：　平成7年度

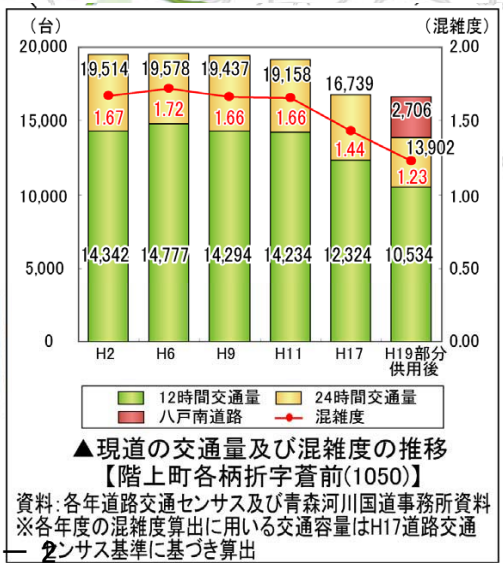
〇進　捗　率　：(完成)57%　(暫定)75%

国道４５号の道路状況





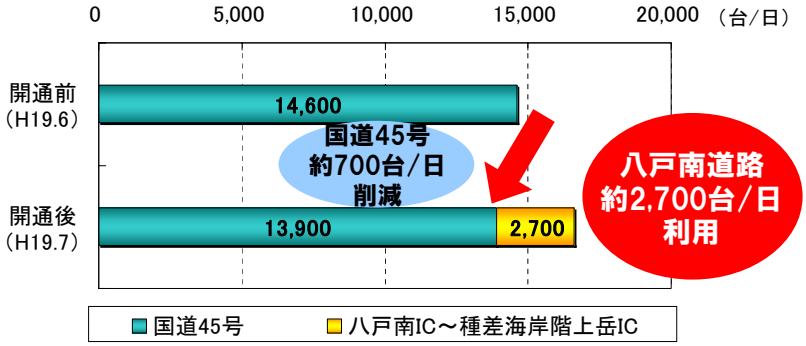
▲部分供用前の状況（大開差交差点）



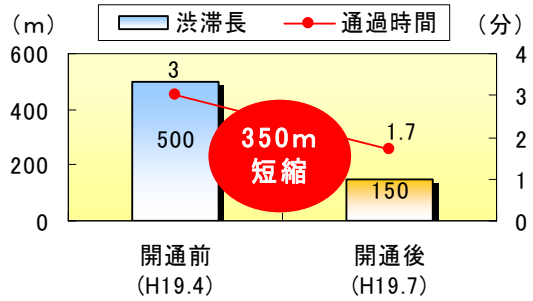
▲現道の交通量及び混雑度の推移
【階上町各柄折字蒼前(1050)】
資料：各年道路交通センサス及び青森河川国道事務所資料
※各年度の混雑度算出に用いる交通容量はH17道路交通センサス基準に基づき算出

部 分 供 用 の 効 果

・渋滞ポイント（大開交差点）の解消



▲部分供用前後の交通量の変化
資料：道路交通センサス及び交通量調査



▲大開交差点の渋滞長・通過時間
資料：青森河川国道事務所資料

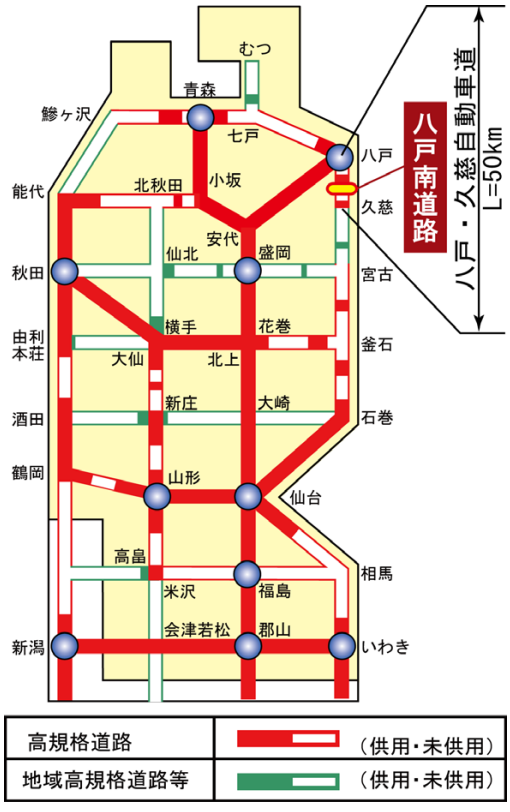




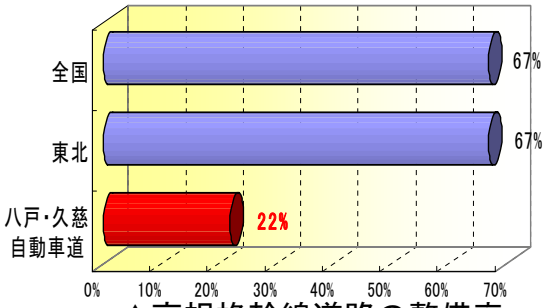
▲大開交差点の渋滞状況（久慈方面より望む）

※渋滞ポイントの定義
・人口集中地区(DID)内：最大渋滞長が1,000m以上または最大通過時間が10分以上
・人口集中地区(DID)外：最大渋滞長が500m以上または最大通過時間が5分以上

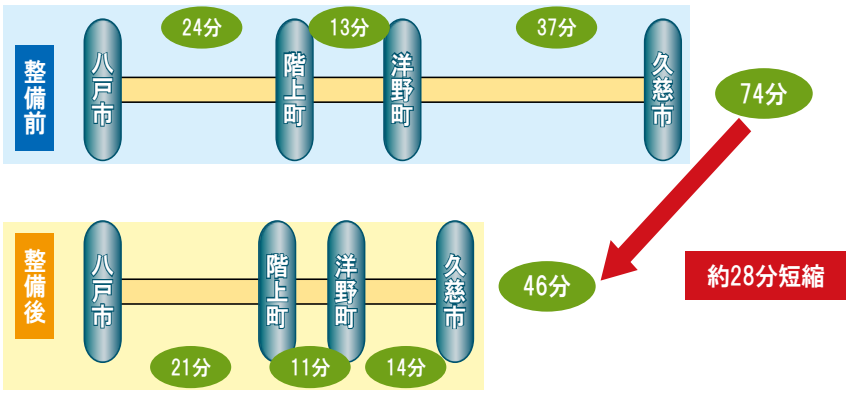
高規格幹線道路ネットワークの構築



▲格子状骨格幹線道路ネットワーク
（H20.4現在）



▲高規格幹線道路の整備率
※H19年度末現在(全国値はH20.6現在)



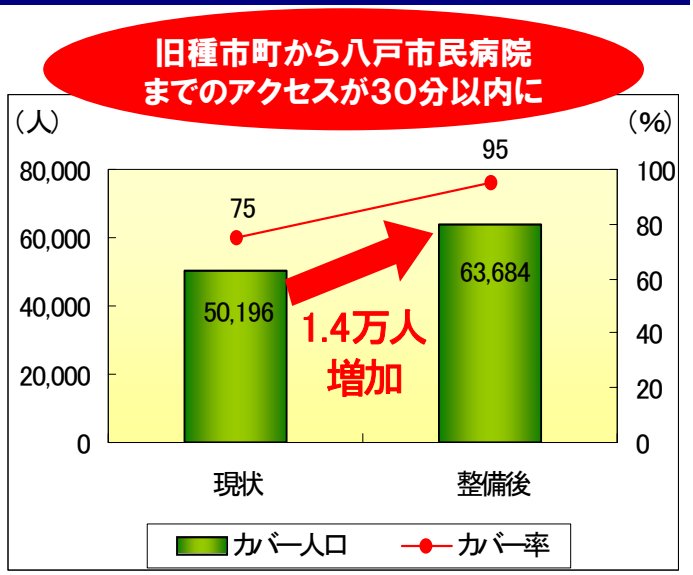
▲八戸市～久慈市間の所要時間の変化
資料：道路時刻表　※整備後は80km/hとして算定

三次救急医療施設へのアクセス向上



▲三次医療施設30分カバー圏の拡大

資料：道路時刻表
※整備後のカバー率は80km/hとして算出



▲久慈二次生活圏の3次救急医療カバー率とカバー人口

出典：国勢調査(H17)、道路時刻表
※整備後のカバー率は80km/hとして算出

物流効率化による地域の生活・産業の活性化

八戸市（八戸港）は、北東北最大の物流拠点であり、久慈地域と八戸港を結ぶ国道45号は石油製品や水産物流の大動脈となっている。



【地域の声】

・灯油需要が増大する冬季には3往復/日することも（通常は2往復）。その場合、道路の混雑や凍結状況によっては輸送時間が読めず、配車の調整が難しい。

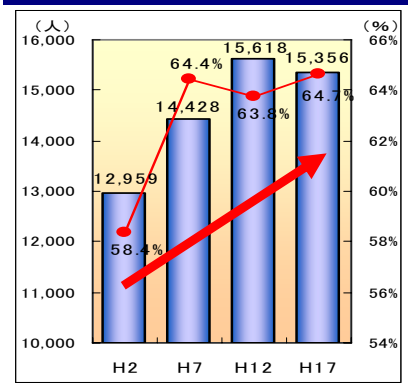
・八戸南道路の整備により配車の調整が容易になり、より効率的な配送が可能。　（八戸市の石油輸送業者ヒアリング結果）

【地域の声】

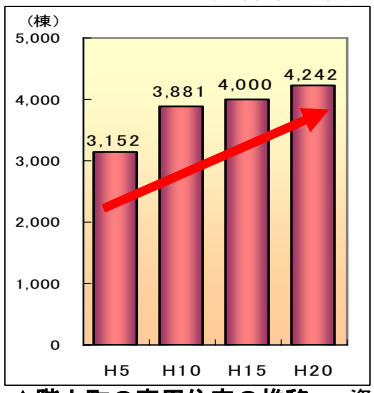
・加工原料といえども鮮度が要求される。八戸・久慈自動車道が全線開通すれば、鮮度が高いうちに処理でき、高品質な加工品を製造できる。　（八戸市の水産業者ヒアリング結果）

◀八戸～久慈・宮古間の石油・水産物流の実態
資料：石油輸送事業者、水産加工事業者ヒアリング結果より

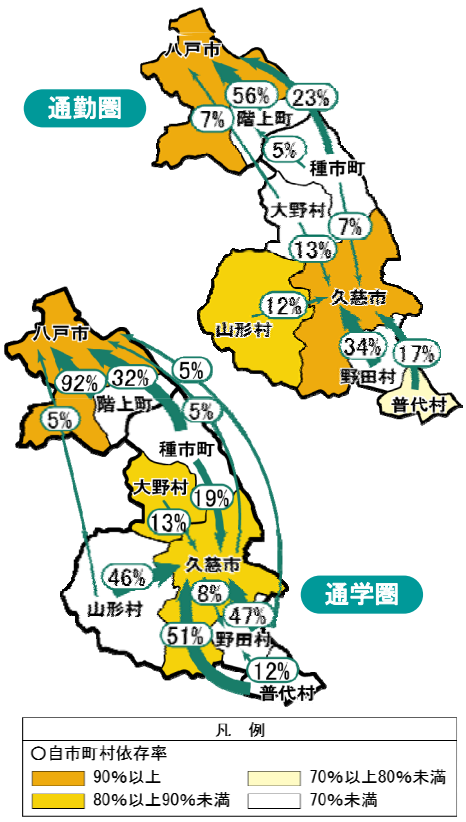
沿線住民の生活利便の向上

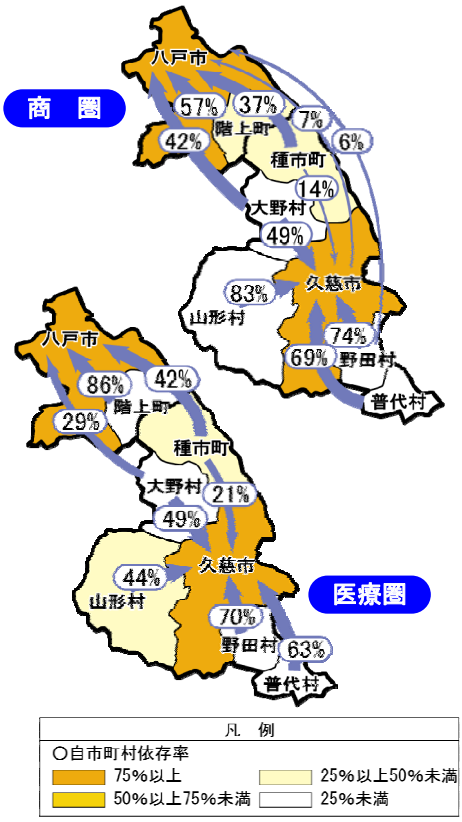


▲階上町の人口推移と八戸市への通勤・通学の依存度
資料：国勢調査



▲階上町の専用住宅の推移　資料：階上町資料





▲日常生活における市町村間の結びつき

事　業　の　投　資　効　果

○費用便益比（B／C）

※下表の数値は、基準年（平成20年）における現在価値に換算した金額を記載

【残事業】

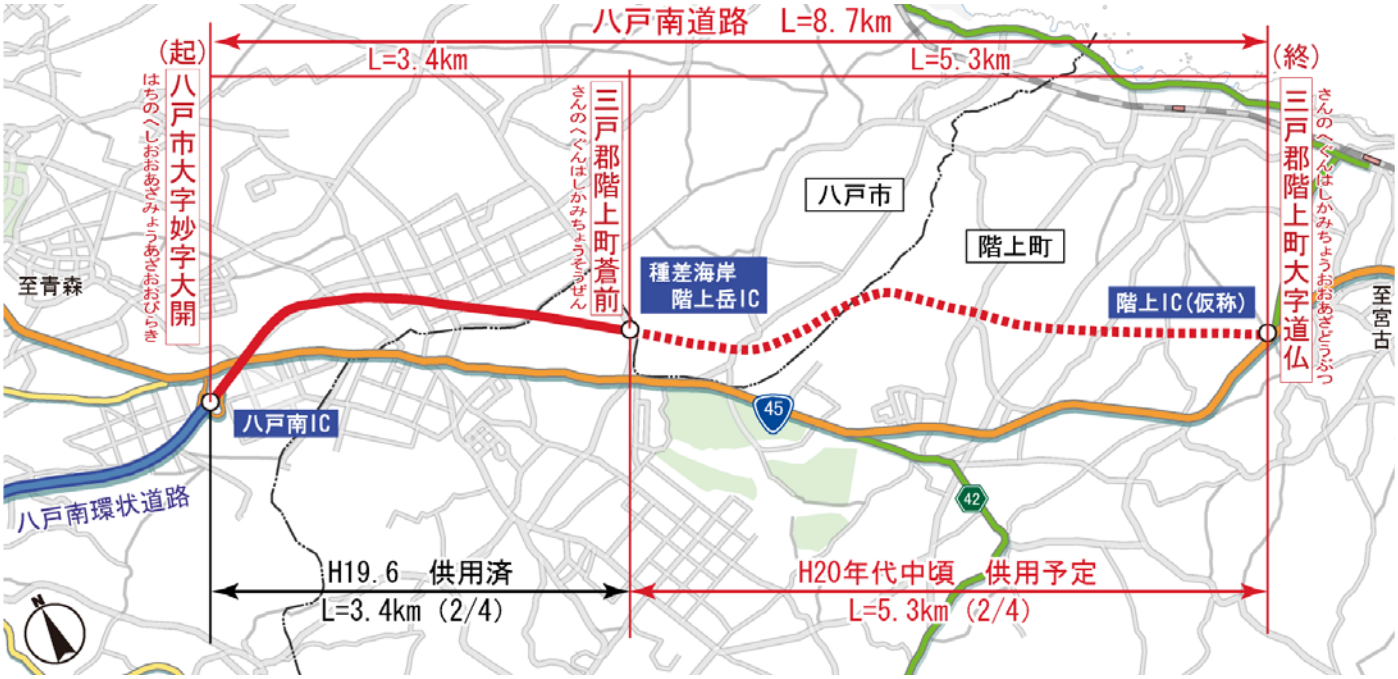
費用C（現在価値）	*122億円*
便益B（現在価値）	*389億円*
費用便益比　B／C	*3．2*

【全　線】*費用便益比　B／C*　　*1．5*

計画交通量（平成42年度）
・八戸南道路＝15,700台／日　　・現道＝5,300台／日

供用予定等今後の事業の見通し

・種差海岸階上岳IC～(仮称)階上IC(L＝5．3km)については、平成20年代中頃の全線2車線供用を目標に事業推進を図る。



対　応　方　針　（　原　案　）

○早期整備の必要性が高い。

- 八戸市～久慈市間の交流・連携の促進
- 三次救急医療施設へのアクセス向上
- 物流効率化による地域の産業の活性化
- 沿線住民の生活利便の向上　など

○地元自治体等からの事業促進の要望がある。

事業を継続実施